

令和5年4月25日

## 国立文化財機構・東京国立博物館アソシエイトフェローの公募について

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび当機構では、職員(アソシエイトフェロー)を公募することとなりました。つきましては、別紙のとおり募集要項を送付いたしますので、貴学の学生並びに関係各位にご周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

募集する職種 : アソシエイトフェロー

採用予定日 : 令和5年8月1日

分野 : 多言語化対応(英語)

※ただし、日本及び東洋の美術史、歴史、考古学、博物館学、文学等の知識を有する者が望ましい。

勤務地 : 独立行政法人国立文化財機構本部事務局 または 東京国立博物館

詳細は東京国立博物館公式ウェブサイトの「採用情報」(下記URL参照)に掲載しております。

URL : [https://www.tnm.jp/modules/r\\_db/index.php?controller=list&t=recruit](https://www.tnm.jp/modules/r_db/index.php?controller=list&t=recruit)

QRコード :



(担当)

独立行政法人国立文化財機構

本部事務局総務企画課人事担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

TEL:03-3822-2438

FAX:03-3822-1113

E-mail:jinji@nich.go.jp

独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェロー(多言語化対応(英語))の公募について  
(Job Listings for English-Language Fellows at the National Institutes for Cultural Heritage)

国立文化財機構  
東京国立博物館  
令和5年4月21日

このたび当機構では、職員(アソシエイトフェロー)を公募することになりました。  
応募を希望する方は、写真を貼付した別紙履歴書ほか必要書類を送付してください。(持参不可)

The Tokyo National Museum and the Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan (soon to be incorporated into the National Institutes for Cultural Heritage) will each be hiring a Research Fellow for English-language interpretive content and international relations.

Benefits will include health care, pension, and paid travel expenses; access to internal databases and records, which may be utilized for research; and the opportunity to increase one's knowledge across a wide variety of art genres. Fellows may also be eligible to receive a researcher number, which may be used to apply for *kakenhi* grants.

Responsibilities will include translating exhibit labels from the Japanese into English in a way that is engaging and accessible for general audiences; interpreting for foreign guests such as museum professionals, ambassadors, and politicians; and communicating with other museums for international loans and events.

Applicants must have good interpersonal skills for working in a Japanese-language setting, write excellent English, and be knowledgeable in Japanese art and its related Japanese terminology. An MA or equivalent academic experience is strongly preferred.

Please refer to the Japanese below for details. Also please note that the Japanese refers to the Sannomaru position as "Honbu Jimukyoku," which is the office where the Sannomaru work will be conducted initially. The other position is for the International Relations Department at the Tokyo National Museum.

1. 職種	アソシエイトフェロー
2. 勤務地	独立行政法人国立文化財機構 本部事務局 または 東京国立博物館 (いずれも住所は 東京都台東区上野公園13-9 となります。) ※令和5年10月以降、皇居三の丸尚蔵館(東京都千代田区千代田1-8)への異動の可能性あります。
3. 配属先	本部事務局 または 東京国立博物館学芸企画部企画課国際交流室
4. 採用予定人数	2名
5. 雇用期間	令和5年8月1日～令和8年7月31日(3年間) ※採用日の調整については応相談 (試用期間:採用日より3ヵ月 勤務条件の変更なし)
6. 分野	多言語化対応(英語)
7. 職務内容	①日本語により作成された文化財の解説にかかる英語への翻訳 ②翻訳業者が作成した翻訳内容の校正 ③その他多言語化対応(①及び②)に関連する業務 ④外国からの要人等に対する通訳業務 ⑤必要に応じて①～④以外の、通訳・案内などの博物館における業務
8. 勤務様態	①勤務日 月～金 ②休日 土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日) ③勤務時間 始業9:00～終業17:00(1日7時間) 休憩時間 60分(12:00～13:00) ④休暇等 年次有給休暇有 ⑤その他休暇 夏季休暇・忌引等(有給) ⑥受動喫煙防止措置の状況 敷地内原則禁煙(禁煙専用室あり) *超過勤務, 休日勤務等の可能性もあります。 *詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。(独立行政法人国立文化財機構WEBページにてご覧いただけます。 URL: <a href="https://www.nich.go.jp/">https://www.nich.go.jp/</a> )

9. 給与等	<p>①年俸(※②を含まない額です。) 4,680,000円 年俸の12分の1の額を、毎月17日に支給します。</p> <p>②その他手当等(該当時に支給される手当) 通勤手当(月 55,000円上限)、超過勤務手当、休日給、夜勤手当</p> <p>③保険等 雇用保険、健康保険(文部科学省共済組合短期給付)・厚生年金加入 *詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。(独立行政法人国立文化財機構WEBページにてご覧いただけます。 URL: <a href="https://www.nich.go.jp/">https://www.nich.go.jp/</a>)</p>
8. 応募資格	<p>応募資格は以下のとおりです。</p> <p>① 修士の学歴を有する者。または学士を卒業し、同等以上の実務能力を有する者。 日本および東洋の美術史、歴史、考古学、博物館学、文学等を専攻し、専門用語を理解できる者が望ましい。</p> <p>② 和文英訳・英文和訳の実務経験を有すること。</p> <p>③ 日本及び東洋の美術に関する知識があり、関連分野(日本史、考古学、美術史、博物館学等)の学術文書(展覧会図録を含む)の翻訳実績のあることが望ましい。</p> <p>④ 英語を第一言語とする者と差異のない文章作成および会話を、日常からビジネスまで幅広い場において支障なく行える語学力を有すること。</p> <p>⑤ 接客や会議参加等の幅広いビジネスの場において、日本語による読み書き及び会話が支障なく行なえること。</p> <p>⑥ 外国籍の者は、日本の永住資格または日本国内における活動に制限のない在留資格を有すること(ただし、採用予定日から当機構の当該業務に従事することが可能な在留資格を取得できる場合は可)。</p>
9. 選考方法	<p>①第1次選考 書類選考を行います。</p> <p>②第2次選考 第1次選考合格者に対して、以下の試験をオンライン(Microsoft Teams)にて実施します。 (Ⅰ.筆記 Ⅱ.通訳) 日本時間 令和5年6月8日(木)、9日(金)、12日(月)のいずれかを予定しています。 ・筆記試験 小論文・語学試験(英文和訳・和文英訳) ・逐次通訳試験(日英・英日) (Ⅲ.面接) 日本時間 令和5年6月13日(火)を予定しています。</p> <p>*第2次選考は、日本在住の方は対面式での実施に変更する場合があります。</p> <p>*第2次選考の日時及び実施方法等の詳細については、第1次選考の合格通知時に別途連絡します。</p> <p>*第2次選考には「Microsoft Teams」を使用します。アプリケーションおよびカメラ・マイクなどは各自であらかじめご準備ください。</p> <p>*オンラインでの試験実施にあたり、接続状況等の事前確認を行います。詳細は第1次選考合格者に個別に案内いたします。</p>
10. 採用予定者の決定及び発表	<p>第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。</p> <p>&lt;選考結果の通知について&gt;</p> <p>第1次選考結果:令和5年6月2日(金)までに、<b>第1次選考合格者にのみ</b>通知します。 (履歴書記載の電話番号またはメールアドレスにご連絡いたします。)</p> <p>第2次選考結果:令和5年6月下旬頃までに、<b>第2次選考受験者全員に</b>文書もしくは電子メールで通知します。</p>
11. 提出書類	<p>以下の書類をご提出ください。なお、書類はPDFファイルにて提出してください。</p> <p>うち①、②は日本語で作成すること。</p> <p>①履歴書(様式1 PC作成可、氏名欄は自筆、写真貼付) ※氏名欄を自筆したものをスキャン等によりご準備ください。</p> <p>②職務経歴書(様式2 PC作成可)</p> <p>③これまでの翻訳業務もしくは日本及び東洋の美術等に関する研究実績のリストおよび成果物1, 2点(様式自由 コピー可)</p> <p>④卒業(修了)証明書、もしくは卒業(修了)証書の写し (大学学部以上の全て。外国語による場合は日本語訳を添付すること。)</p> <p>⑤英語または日本語の能力を証明する書類(TOEIC、英検、日本語能力検定、実用日本語検定などの点数・レベルに関する証明書)の写し ※母国語とする言語は除く。受験歴のない者は提出不要</p> <p>⑥推薦書(提出は任意)(様式3) 研究等の指導教官等による推薦書がある場合には、提出すること。 (外国語による場合は日本語訳を添付すること。)</p>

	<p>*ご記入・ご提出いただきました個人情報、当公募の管理・審査以外の目的に使用いたしません。(当法人の保有個人情報等管理規程に基づき厳正に管理いたします。)</p>
12. 応募方法等	<p>①応募締切 日本時間 令和5年5月29日(月)午前9時必着</p> <p>*当選考案内は独立行政法人国文化財機構ウェブサイトからダウンロードが出来ます。 (URL:<a href="https://www.nich.go.jp/information/recruit/">https://www.nich.go.jp/information/recruit/</a>)</p> <p><b>*応募方法</b> 提出書類のPDFファイルを「saiyo[at]nich.go.jp」まで送付してください。 メールのタイトルは「【氏名】アソシエイトフェロー(多言語化対応「英語」)応募」としてください。 (メールアドレスの[at]は@に置き換えてください。) (タイトルの【氏名】の部分は、ご自身のお名前に置き換えてください。)</p> <p>②提出先・問合せ先 独立行政法人国立文化財機構本部事務局総務企画課人事担当 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 TEL 03(3822)2438</p>
13. 募集者名称	独立行政法人国立文化財機構



区分	年	月	資格等
資格	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

現在の勤務先

ふりがな
名称
所在地 (〒 - )
Tel ( ) -
職種及び職務内容(具体的に)

自己紹介欄

志望動機・当館勤務における抱負

主要業績(研究実績または翻訳実績)

※主要業績のみ記載。内容等詳細はリスト等に別途記載すること。

語学 英語 ( 1 2 3 4 5 ) TOEIC 点(H ) 英検 ( )級 他の外国語 _____語( 1 2 3 4 5 ) 資格試験 ( )レベル ( )	勤務開始可能日  趣味・スポーツ
---	------------------------

外国籍の方のみ記入してください(該当の□にレを記入または具体的に記入願います)

- ・日本の永住資格の有無      有      無
- ・日本の在留資格の有無      有      無 (有する資格の内容 )
- ・上記以外(具体的に記入してください )

日本国外に在住の方のみ記入してください(該当の□にレを記入または具体的に記入願います)

- ・日本への渡航・転居可能時期 (      年      月頃)
- ・日本への渡航・転居時の帯同者      有      無
- 帯同者有の場合 (帯同人数      全      人      配偶者・パートナー      子      その他(      ))
- ・日本への滞在歴(学歴、職歴以外)      有      無
- 滞在歴有の場合 (滞在時期      年      月～      月頃      滞在期間      )

日本への渡航・転居・就業にあたっての懸念事項等がありましたら、下記に記載してください。

どちらで、この度の公募をお知りになりましたか？ 該当の□にレを記入してください。

- 国立文化財機構・東京国立博物館のウェブサイト       ネット TAM
- インターネットミュージアム       その他(      )

その他

## 履 歴 書 記 入 要 項

- (1) すべての欄に、正しく記入すること。記入事項がない場合にも、該当欄内に「なし」と記入すること。記入不足がある場合には、申込みを受け付けないことがあります。また、虚偽の記載がある場合には、採用される資格を失うことがあります。
- (2) 様式に直接入力して作成すること。印刷した様式に記載する場合は、黒のインク又は黒ボールペンで記入すること。
- (3) 年は和暦（元号）で、数字は算用数字、ふりがなはひらがなで記入すること。
- (4) 印刷した様式に写真貼付する場合は、写真の裏面には氏名を記入して、貼付すること。
- (5) 職歴欄にはすべての職歴を履歴順に記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。資格・学位は主なものを選んで枠の数以内で記入すること。また、取得見込の資格等も併せて記入すること。
- (6) 語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (7) 他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらえると最低限理解できる。 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。（入門・初級） （英語の場合、目安として、TOEIC 370点程度若しくは英検3級程度）
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。（中級） （英語の場合、目安として、TOEIC 560点以上若しくは英検2級程度）
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。（中上級） （英語の場合、目安として、TOEIC 760点以上若しくは英検準1級程度）
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。（上級） （英語の場合、目安として、TOEIC 940点以上若しくは英検1級程度）

例    英語（1 2 3 ④ 5）                      他の外国語（独語 4）

- (8) 英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。  
例    英検準1級（H30）                      TOEFL iBT 100点（H29）
- (9) 外国籍の方は、在留資格等の有無について必ず記載すること。また、国籍を問わず日本国外に在住している場合は、渡航・転居にかかる事項について必ず記載すること。
- (10) ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (11) メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、添付ファイルを受信できるアドレスを記すこと。

(様式 2)

職務経歴書

(例) 平成25年4月～現在 株式会社×××××

【事業内容】 海外との研究調査、コーディネート 【従業員】 ××名 【資本金】 ××××万円

期 間	業 務 内 容	制 作 物	役 割
平成25年4月   平成28年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外調査データ整理</li> <li>翻訳業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究報告書</li> <li>論文翻訳</li> </ul>	翻訳業務 データ整理
平成28年4月   現 在	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外調査のコーディネート</li> <li>招へい者のアテンド</li> <li>英語⇄日本語翻訳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術紀要</li> <li>調査報告書</li> <li>シンポジウム</li> </ul>	英語担当コーディネーター 翻訳・通訳業務

平成××年×月～平成××年×月 株式会社×××××

【事業内容】 ×××× 【従業員】 ××名 【資本金】 ××××万円

期 間	業 務 内 容	制 作 物	役 割

平成××年×月～平成××年×月 株式会社×××××

【事業内容】 ×××× 【従業員】 ××名 【資本金】 ××××万円

期 間	業 務 内 容	制 作 物	役 割

記入要領

- 1 記入は勤務先ごとに分けて行うこと
- 2 従業員については、概数で構わない
- 3 資本金については、記入は必須ではない

(様式3)

## 推 薦 書

令和 年 月 日

独立行政法人国立文化財機構理事長 様  
東京国立博物館長 様機関名等  
職・氏名

印

下記のとおり候補者を推薦します。

候補者	ふりがな 氏名	( 年 月 日生)
	現 職	
推薦理由		
備 考		

# 2023 年度春募集

## 外務省在外公館専門調査員試験案内

書類での応募を廃止し、専用 WEB サイトからの応募となります。  
弊協会ホームページから専用サイトにアクセスし、必要事項を入力していただきます。  
アクセス先はこちら <http://www.ihcsa.or.jp/zaigaikoukan/sencho-01/sencho-02/>

**応募受付締切**

**2023 年 5 月 15 日（月） 15 時（日本時間） まで**

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目 17 番 18 号 白鹿茅場町ビル 5 階

**一般社団法人 国際交流サービス協会**

専門調査員試験係

電話番号 : 03-6280-5172

労働者派遣許可番号 派 13-011280

<http://www.ihcsa.or.jp/zaigaikoukan/sencho-01/>

2023年4月吉日

関係各位

一般社団法人国際交流サービス協会  
専務理事 近藤 勝次

2023年度春 外務省在外公館 専門調査員募集について

謹啓

時下益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より、弊協会には格別なご指導、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、この度2023年度春外務省在外公館専門調査員試験を下記の通り執り行う運びとなりました。

つきましては、今回の募集要項冊子及びポスターを送付致しますので、多くの方にご案内下さいますようお願い申し上げます。

ご多忙のところお手数をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第一次試験

日時：2023年6月4日（日） 10時～13時頃（2ポスト希望者は14時頃）

場所：【東京会場】 CIVI 研修センター日本橋

【大阪会場】 AP 大阪淀屋橋 4階

試験：筆記試験（外国語、ポストごとの専門に関する論文）

2. 第二次試験（Web面接）

日時：2023年6月29日（木）～7月7日（金）

試験：面接試験（外国語会話、人物面接）

3. 応募締切

2023年5月15日（月） 15時（日本時間）まで

4. 本件問い合わせ先

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17番18号 白鹿茅場町ビル5階

一般社団法人国際交流サービス協会 専門調査員試験係

TEL：03-6280-5172 / E-mail：senchoexam@ihcsa.or.jp

詳細は弊協会ホームページをご覧ください。

<http://www.ihcsa.or.jp/zaigaikoukan/sencho-01/sencho-02/>

以上

## 1. 外務省在外公館専門調査員について

外務省在外公館専門調査員とは、労働者派遣法の下で、わが国の在外公館（大使館、総領事館、政府代表部）に原則 2 年の任期をもって派遣され、在外公館の一員としてわが国の外交活動に資するため、語学力及び専門性を活かしつつ、在外公館長の指揮監督の下に、派遣国・地域の政治、経済、文化等に関する調査・研究及び館務補助の業務を行なうものです。2023 年 4 月 1 日現在、152 公館に 181 名を派遣しています。

## 2. 応募資格

下記の条件を、応募締め切り日（2023 年 5 月 15 日）までに満たしていること。

- (1) 大学院（修士）修了以上の者（ポストにより修士課程在学中の応募も可。募集公館リストを参照のこと）。または、学部（4 年制大学・学士）卒業後、応募するポストの担当事項の分野において、業務上 3 年以上の調査・研究の実績を有する者。
- (2) 業務を遂行するに足る十分な語学力を有する者。
- (3) 在外公館の組織の一員として、海外での長期派遣の任に耐え得る者。
- (4) 日本国籍を有する者（二重国籍可。ただし、任国の国籍・永住権保持者は、査証及び赴任後の滞在許可取得に問題が生じ得るため不可。また、任国滞在許可所持者については、査証及び赴任後の滞在許可取得に問題が生じないことを条件に可）。\*現在所持する査証、滞在許可、永住権に関する書類を応募の際にご提出頂きます。巻末の「お伺い書」をご参照ください。
- (5) 普通自動車運転免許を持っていることが望ましい。任地により車での通勤が必須となり、免許が無いと勤務が困難な場合があります。

\*学部卒の方は、勤務実績により応募資格の有無を判断しますので、応募書類を送付する前に、職務上作成したレポートのリストをご用意の上、必ず弊協会へお問い合わせください。

## 3. 応募要領

- (1) 募集期間

2023 年 5 月 15 日（月） 15 時（日本時間）まで

\*応募者が少数のポストは、そのポストのみ 5 月 22 日（月）15 時まで募集期間を延長します。  
延長するポストは 5 月 16 日（火）の午後にホームページに掲載します。

- (2) 応募方法

専用の応募サイトにアクセスし、エントリー情報を入力します。書類送付やメールでの受付は行いません。

\*すべての入力を終えるまでに相当の時間がかかりますのでご注意ください。入力途中での保存はできません。入力内容はこの冊子の巻末の見本をご覧ください。

\*パソコンでの入力を前提として画面を設定しています。スマートフォンでの入力は推奨しません。また、スマートフォンでの入力に関するお問い合わせには応じられません。

\*Web エントリー中に以下の書類のアップロードが求められます。

予め書類をご用意の上、サイトにアクセスしてください。

①顔写真データ

- ・3ヶ月以内に撮影したもの
- ・正面、無帽で上半身のみが写っているもの
- ・画像サイズは2MG以内
- ・ファイル形式はJPEG、GIFまたはPNGが有効

②調査研究実績概略（A4版3枚まで）

③専門領域・志望動機（A4版2枚まで）

\*②③のフォーマットは弊協会ホームページ及び専用の応募サイト上でダウンロードしてください。（見本はこの冊子の巻末にあります）。

④国籍・査証・滞在許可・永住権等に関するお伺い書

現在、日本国籍以外にも別の国籍、有効な外国のビザや滞在許可証、永住権等をお持ちの方は、所持している国または地域へ、専門調査員として赴任ができない可能性がありますので、予めお伺いします。

お持ちの査証や滞在許可証、永住権のすべてについてお答えください。

\*いずれも該当しない方は、記名の上所持していないに○をつけてアップロードしてください。

⑤修士課程修了または在学証明書（学位記のコピーでも可）

\*外国語で記載されている場合は、余白に和訳を記入してください。

\*証明書がすぐに入手できない方は「一次試験までに提出します（氏名）」と書かれた紙をご用意ください。

\*上記書類をスキャンしたデータまたは画像ファイルをアップロードしてください。

## 4. 選抜試験

書類選考は行いません。応募資格を満たしている方全員に第一次試験をお受けいただきます。

ただし、遠隔地との衛星回線等を利用した試験は行いません。

第二次試験は、第一次試験合格者のみを対象としてWeb面接となります。個々人の都合に合わせて別日程での追加試験は行いません。

(1) 第一次試験

東京・大阪の2会場で同時に行ないます。ご希望の会場を一つ選んでください。

**※一旦選んだ会場は変更できません。**

①日 時： 2023年6月4日（日）

午前10時から午後1時頃まで（2ポスト応募者は午後2時頃まで）

\*途中20分程度の休憩を挟みます。

②場 所： 東京会場：CIVI研修センター日本橋

（東京都中央区日本橋室町4-1-6クアトロ室町ビル5・6階）

[https://www.civi-c.co.jp/access\\_t.html](https://www.civi-c.co.jp/access_t.html)

大阪会場：AP大阪淀屋橋

（大阪府中央区北浜3-2-25京阪淀屋橋ビル4階）

<https://www.tc-forum.co.jp/ap-osakayodoyabashi/access/>

- ③試験科目： 外国語筆記 60分（選択できる言語は一言語のみです。）  
応募ポストの専門性に関する論文① 60分  
応募ポストの専門性に関する論文② 60分（2ポストに応募の方）

④合格発表： 6月23日（金）

応募サイトのマイページに、試験結果および、二次試験の情報をアップします。

## （2）第二次試験（Web面接）

①日 時： 2023年6月29日（木）～7月7日（金）

\*日時は受験者により異なります。協会が決定した日時の変更はできません。

\*複数のポストに応募していても、面接は1回です。

②試験科目： 人物面接 15～20分程度・外国語会話 10～12分程度

③合格発表： 合格者には7月28日（金）以降順次メールで通知します。

### \*必要な設備、機材について\*

オンラインでの実施となるため、下記のようなインターネット通信環境およびPC等を各自でご準備ください。通信料等の費用は受験者本人の負担です。

#### ・インターネット通信環境

十分な通信速度を確保するため、光ファイバー回線などの高速、かつ有線のインターネット環境をご使用ください。諸事情によりモバイル回線（携帯電話会社提供の回線）を使わざるを得ない場合は、下記のサイトで、通信速度を確認してください。20Mbps以上あれば理想的ですが、最低でも10Mbpsは必要です。

<http://speed.googlefiber.net/>

モバイル通信をご利用になる方は通信量制限によってビデオ通話が途切れることが無いよう、自身の契約プラン・利用状況を事前にご確認ください。

試験当日につながる、途中で通信が切断されてしまったなど、受験者自身の機器や通信環境等によりトラブルが生じた場合、協会は責任を負いかねますので予めご了承ください（受験日の振替等の特別措置は原則できません）。

#### ・パソコン（PC）

デスクトップまたはノートパソコンの使用を強く推奨します（面接時に画面共有機能等を使用する可能性があります）。Windows、Macどちらでも構いません。

やむを得ない場合「タブレット端末」「スマートフォン」の利用も認めますが、使用機器により試験実施に支障があった場合、協会は責任を負いかねますので予めご了承ください（受験日の振替等の特別措置は原則できません）。

##### 1. カメラ

PC内蔵カメラまたはウェブカメラが必要です。

##### 2. ヘッドセット（マイク）

周囲からの雑音を極力避けるため、ヘッドセットもしくはイヤホンをご使用ください。オンライン会議用のスピーカマイクがあれば利用しても構いません。

試験官に音声が届かない場合は、試験を中止することがあります。

### ・PC メールアカウント

応募 WEB サイトに登録されたメールアドレスに専用 URL を E メールにて送付します。

### ・受験に際しての注意事項

受験者のみで第三者が入ってこない部屋で受験してください。できるだけ静かな環境を確保してください。

公平な試験実施の観点から、協会はオンライン面接の内容を撮影・録画・録音することがあります。受験者がオンライン試験の内容を撮影・録画・録音することは一切禁止とします。

また、試験内容を他の場所へ中継すること、試験中に第三者より助言を受けることも一切禁止とします。

試験中にカンニングペーパー、参考書等を隠し持つ、使用するなどの不正行為を一切禁止とします。

これらの禁止行為が疑われる場合は、試験を中止とし、また合格を取り消すことがありますのでご注意ください。

その他詳細については、一次試験合格者に対して応募 WEB サイトのマイページにて改めてご案内します。

#### (3) 健康診断

二次試験合格者には、指定項目の健康診断を受診していただきます。

#### (4) 赴任前研修

原則として赴任の前月に2週間程度、外務省内で赴任前研修を行ないます。詳細については、二次試験合格通知時に個別にお知らせします。

## 5. 待遇

(1) 国際交流サービス協会の嘱託職員として採用され、各在外公館に派遣されます(1年契約、更新は1回まで可。試用期間なし)。

同協会の規程に基づく報酬、住居費、及び渡航に関する費用等を支給します。

(2) 社会保険(雇用保険、健康保険、厚生年金保険)に加入し、労災保険が適用されます。

(3) 月額報酬はおおよそ36万円～73万円で、金額は派遣先により異なります。修士在学中(未卒)の方は減額の措置があります。

(4) 詳しい労働条件等は試験会場にてお伝えします。

試用期間：なし

就業時間：原則として1日7時間45分勤務

時間外労働：あり

加入保険：雇用保険、労災保険、厚生年金保険、健康保険

募集者の氏名：一般社団法人国際交流サービス協会

雇用形態：派遣労働者(嘱託職員)

2023年度春募集 在外公館専門調査員試験 募集ポスト①(一覧)

2023年4月18日

赴任月	募集番号	公館名	担当事項	試験語学	修士在学中の応募
2023年10月	1	在中華人民共和国日本国大使館	中国の内政・外交	中国語	可
	2	在中華人民共和国日本国大使館	中国の内政・外交	中国語	可
	3	在中華人民共和国日本国大使館	中国経済	中国語	可
	4	在広州日本国総領事館	中国(華南)経済	中国語	可
	5	在上海日本国総領事館	中国経済及び日中経済関係	中国語	可
	6	在香港日本国総領事館	香港、マカオ経済	英語又は中国語	可
	7	在カラチ日本国総領事館	パキスタン経済及び在カラチ総管轄地での経済協力	英語	可
	8	在ブルネイ日本国大使館	ブルネイの政務・経済	英語	可
	9	在ホーチミン日本国総領事館	ベトナム中南部の政治・経済・社会状況	ベトナム語又は英語	可
	10	在モルディブ日本国大使館	広報文化	英語	可
	11	在モンゴル日本国大使館	文化交流全般及び対日動向	モンゴル語	可
	12	在トンガ日本国大使館	トンガに対する開発協力、トンガの内政・外交・経済	英語	可
	13	在ニューヨーク日本国総領事館	ニューヨーク州及び周辺地域の政治情勢、米国の内政	英語	可
	14	在ドミニカ共和国日本国大使館	ドミニカ共和国の政治・経済情勢及び対日経済関係促進関連情報等	スペイン語	可
	15	在パナマ日本国大使館	パナマ政治・経済情勢	スペイン語	可
	16	在ペルー日本国大使館	ペルーの政治(内政・外交)	スペイン語	可
	17	在ホンジュラス日本国大使館	ホンジュラスの政治・経済・社会情勢及び中米統合	スペイン語	可
	18	在ドイツ日本国大使館	ドイツの政治・社会事情(内政や欧州・外交政策等)	ドイツ語	可
	19	在ロシア日本国大使館	ロシア経済情勢及び政府の経済政策、ロシアの対外経済関係(エネルギー情勢を含む)	ロシア語又は英語	可
	20	在ウジノサハリンスク日本国総領事館	ロシア経済(サハリン石油・天然ガス開発、日本・北海道との経済関係)	ロシア語	不可
	21	在クウェート日本国大使館	クウェート経済、日・クウェート経済関係	英語	可
	22	在アンゴラ日本国大使館	アンゴラの政治経済情勢と経済開発の動向	ポルトガル語又は英語又はスペイン語	可
	23	在ガーナ日本国大使館	ガーナ及び周辺諸国における経済動向並びに開発協力	英語	可
	24	在ガボン日本国大使館	ガボン及び兼轄国における開発協力及び政治・経済情勢	フランス語	可
	25	在ケニア日本国大使館	ケニア、エリトリア、セーシェル、ソマリアにおける経済社会開発と経済技術協力	英語	可
	26	在コンゴ民主共和国日本国大使館	コンゴ民主共和国及びコンゴ共和国における経済・経済協力	フランス語	可

\*募集公館・赴任月は変更となる場合があります。

赴任月	募集番号	公館名	担当事項	試験語学	修士在学中の応募
2023年10月	27	在タンザニア日本国大使館	タンザニア及び東南部アフリカ地域の経済社会動向・日本企業活動支援・開発協力	英語	可
	28	在ベナン日本国大使館	対ベナン開発協力及びベナン政務・経済等に関する調査	フランス語	不可
	29	在モーリタニア日本国大使館	モーリタニア開発協力及び政治・経済情勢	フランス語又は英語	可
	30	在モザンビーク日本国大使館	モザンビーク経済情勢、日本企業支援	ポルトガル語又は英語	可
	31	国際連合日本政府代表部	国連における開発課題への対応(特に国連開発機関との調整業務)	英語	不可
2023年11月	32	在インド日本国大使館	インド及び南アジアの経済・経済協力	英語	可
	33	在インドネシア日本国大使館	インドネシアの経済・経済協力	インドネシア語又は英語	不可
	34	在ラオス日本国大使館	ラオスの対ASEAN外交をはじめとするラオス政治状況	ラオス語又は英語	不可
	35	在パラオ日本国大使館	日・パラオ文化交流及び広報(特にSNS・メディア発信)	英語	可
	36	在サンフランシスコ日本国総領事館	教育広報、日本語教育、JETプログラム、青少年交流、日本文化紹介活動	英語	可
	37	在デトロイト日本国総領事館	ミシガン州及びオハイオ州における文化・教育交流、広報及び政治経済報道調査	英語	可
	38	在キルギス日本国大使館	キルギスの政治・経済・社会動向、開発協力	ロシア語又は英語	可
	39	在クロアチア日本国大使館	クロアチアの政治・社会・経済情勢	英語	可
	40	在ルーマニア日本国大使館	ルーマニアの政治・経済及びルーマニア・EU関係	英語	可
	41	在イラン日本国大使館	イランの政治・社会情勢	ペルシャ語又は英語	可
	42	在チュニジア日本国大使館	チュニジアにおける広報・文化、経済・開発協力	フランス語又はアラビア語	可
2023年12月	43	在重慶日本国総領事館	中国西南地域の経済情勢	中国語又は英語	可
	44	在瀋陽日本国総領事館	中国東北三省における中国経済と対日経済関係	中国語	可
	45	在青島日本国総領事館	山東省の経済情勢及び日本との経済交流	中国語	可
	46	在ウルグアイ日本国大使館	ウルグアイの政治経済状況及び地域経済統合(メルコスール等)	スペイン語	可
	47	在ハンブルク日本国総領事館	国際海洋法裁判所の動向把握、経済	英語	可
	48	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部	環境関連条約を中心とする各種国際法の実施促進及び環境関連諸機関との連携に係る取組。環境を中心とする分野横断的な事項(環境と防災、環境と保健等)に係る取組。	英語	不可
2024年1月	49	在スリランカ日本国大使館	スリランカの平和構築と内政(各民族・政党の動向、民族問題の解決のあり方)	英語	可
	50	在マイアミ日本国総領事館	中南米及びフロリダ州の政治・経済情勢並びに中南米・米国関係	英語又はスペイン語	可
	51	在ニカラグア日本国大使館	ニカラグアの政治・経済	スペイン語	可
	52	在アゼルバイジャン日本国大使館	アゼルバイジャンの経済・経済協力	英語又はトルコ語	不可
	53	在チェコ日本国大使館	日チェコ文化・知的交流、パブリック・ディプロマシー	英語又はチェコ語	可

\*募集公館・赴任月は変更となる場合があります。

赴任月	募集番号	公館名	担当事項	試験語学	修士在学中の応募
2024年1月	54	在ノルウェー日本国大使館	ノルウェー及びノルウェーを中心とする北欧諸国の政治・経済・社会動向	英語又はノルウェー語	可
	55	在ハンガリー日本国大使館	ハンガリーの政治経済及び総務	英語又はハンガリー語	可
	56	在ストラスブール日本国総領事館	欧州機関(欧州評議会、欧州議会、欧州人権裁判所)の活動内容	英語又はフランス語	可
	57	在ナイジェリア日本国大使館	ナイジェリア開発協力・人道支援、ECOWAS	英語	可
	58	在ウィーン国際機関日本政府代表部	国際原子力機関(IAEA)における原子力の平和的利用(技術協力、原子力科学・応用等)	英語	可
2024年2月	59	在ドイツ日本国大使館	気候変動に関する国際的枠組等	英語	可
	60	国際連合日本政府代表部	国連の予算・人事・機構(国連機構改革を含む)	英語	可
	61	国際連合教育科学文化機関(UNESCO)日本政府代表部	文化関連ユネスコ条約、文化遺産保護等に関する国際協力、文化関連事業	英語又はフランス語	可
2024年3月	62	在ネパール日本国大使館	ネパールの経済動向及び政治情勢	英語	可
	63	在バングラデシュ日本国大使館	バングラデシュの政治情勢及び外交政策	英語	可
	64	在ベトナム日本国大使館	日本とベトナムの広報文化関係	ベトナム語又は英語	不可
	65	在イタリア日本国大使館	イタリアの文化・広報・教育事情	イタリア語	可
	66	在エストニア日本国大使館	エストニアの政治・経済情勢及び日エストニア関係	英語	可
	67	在レバノン日本国大使館	レバノンの社会経済状況の把握及び効果的な経済開発協力の実施	英語	可
	68	在ジブチ日本国大使館	ジブチの政治情勢	フランス語	可
	69	在ジンバブエ日本国大使館	ジンバブエにおける政治・経済	英語	可
2024年4月	70	在シンガポール日本国大使館	シンガポールの内外政及び東南アジアを中心とする地域情勢	英語	可
	71	在釜山日本国総領事館	釜山・慶尚道地域における日韓交流・対日世論に関する情報収集と対外広報	韓国語	可
	72	在中華人民共和国日本国大使館	中国経済	中国語	可
	73	在ラオス日本国大使館	ラオス経済・財政・社会開発状況調査及び経済協力・開発パートナーとの協議	英語又はラオス語	可
	74	在フィジー日本国大使館	フィジー及び兼轄国(キリバス、ツバル、ナウル)の内政・外交及び我が国によるパブリック・ディプロマシー	英語	可
	75	在ナッシュビル日本国総領事館	米国南部の政治情勢分析等	英語	可
	76	在ジョージア日本国大使館	ジョージアの社会・文化情勢	英語又はロシア語又はジョージア語	可
	77	在ラトビア日本国大使館	ラトビアの政務(内政・外交)、経済	英語	可
	78	在レバノン日本国大使館内在シリア大使館臨時事務所	シリアの政治・経済・社会動向	英語	可
	79	東南アジア諸国連合日本政府代表部	ASEANの3つの共同体(政治安保、経済、社会文化)の動向及び日ASEAN関係の協力強化	英語	可
	80	アフリカ連合(AU)日本政府代表部	AU、アフリカ情勢に関する情報収集・分析	英語又はフランス語	可

\*募集公館・赴任月は変更となる場合があります。